



大勢の保護者の方に来ていただき講堂はほぼ満席

保護者学校見学会開催

本校の在校生の保護者に授業の内容や就職指導など学校の今を見ていただき、教育の現場を実際に確認していただくための保護者見学会を毎年開催しています。

今年は6月13日(土)に開催し、170世帯、252名の方に参加をいただきました。授業見学だけでなく、就職先である自動車業界の動向や建学の精神、育成方針に沿った学校独自のカリキュラムなどを事例をあげて紹介しています。授業終了後は担任の先生との懇談会を行いました。ここでは各クラス運営についての説明、保護者の方からの質問への回答を行いました。



授業の様子をすぐ近くでご覧いただきました

宮城 光さんの交通安全講話



7月23日に実施した安全運転講話では二輪と四輪のレーサーである宮城さんと、自らのレース活動を振り返りながら公道とサーキットの違いや安全運転に関するロードバイイスをしていただきました。講義形式ではなく、本校のマナー講座でお世話になっているホンダスマイルの方との質疑応答形式で行っています。

毎年の交通安全の実情にも触れ、今年度の交通事故件数や負傷者数、死亡者数なども紹介されて安全運転の意識を高めてもらうようにしています。

2009 学園祭



近隣の子どもたちに人気のダンボールクラフト



トライアルバイクでの華麗なジャンプ



著名人のペイントしたバイクが勢ぞろい

9月12日に年に1度の最大の学園祭が行われました。毎年、学生たちが趣向をこらしてHTECらしさを溢れるいろいろなものを用意、準備、運営を行っています。

今年の目玉は著名人がデザインした「スーパーカー」が40台も学園にやってきました。これは「スーパーカー」生誕50周年記念イベント「Love Cub 50」でペイントされた50数台のほとんどを学園に持ってきて展示したというもの。学園祭実行委員の自慢は他の会場での展示台数に比べて大幅に台数が多いこと。

もちろん、学園祭ではおなじみのトライアルバイクショーに本多元治さん、小林直樹さんが迫力あるライディングとユモア溢れるトークを披露してくださいました。マジックショーではトムヤムクンさん、KORーさん、北見伸さんにはすばらしいイリュージョンを披露していただきました。他にもテクフリさんのライブがあったり、子供たちにはASIMOのダンボールクラフト作り挑戦やポケパールの体験乗車も人気があって、地域の方々のふれあいの場も盛り上がりました。定番の模擬店はクラスごとにいろんなメニューに挑戦したり、お店への呼び込みなどで学園祭を盛り上げていただきました。

メカニック部は活動の中で通称「8耐」と呼ばれる鈴鹿サーキットで行われるオートバイレースへHondaの従業員チームにメカニックとして参加しています。参加させていただいているのは狭山と浜松の製作所の合同チームでチームエスカルゴです。今回のレースは完走でき、従業員チームの中では一番上位の21位という成績を残しました。参加した一級課程3年生の竹越君のレポートを紹介いたします。

2009 Suzuka 8hours

私は今年で8耐に参加させてもらって2年目で、機会を与えてくれた先生やチームのみなさんにはとても感謝しています。去年の8耐では初めてのレース経験ということで自分のことではいっばい周りがしっかり見えてなかったような気がします。今年の8耐は去年と同じタイヤサポートの仕事をしてやらせて頂きました。去年できなかったことがいろいろあったのでリベンジしたかったから希望しました。

今年は1台の参加ということで去年に比べてホイールの数も余裕があるし、タイヤウオーマーも数があったので、とても仕事に余裕がありました。去年やった仕事ということもあり、タイヤの皮むきやクリーニングなど要領良く出来たと思います。去年はマシン担当の方とコミュニケーションが自分から取れず、狭山レーシングの小田桐さんにとっただけで、今年は自分から積極的にコミュニケーションを取りにいこうと思い、意識して行動しました。タイヤのことだけでなく他にもパーツのことだったり、個人的なことだったり、みなさん優しく接してくださってありがたかったです。特に一緒にタイヤサポートをさせていただいた朝霞研究所の宮下さん、本田

技研熊本製作所の杉山さんにはたくさん迷惑をかけたと思いますが、優しくしていただいて嬉しかったです。メカニック部の真壁と塩川には光は楽しそうだなと言われ、それも宮下さんと杉山さんがそういう雰囲気を作ってくれたからだと思います。ARCCCBPという宮下さんが決めたという暗号は8耐だけでなく自分の活動の方にも活かしていきたいです。

今年の8耐に参加させてもらって、来年の8耐に向けて考えました。やはり2年間タイヤサポートをやっていたので、マシン整備をほとんどやっていません。もっとマシンのことを知らないといけないなと思いました。もっと知ればまた違った目線で色々見られるのではないかと思います。来年参加させていただけるチャンスがあるなら、ピットの方に出て、マシン整備の方に参加したいです。それにはもっと勉強して準備しておきたいです。今年も鈴鹿8時間耐久レースに参加させていただいてありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

レポート：研究科3年生 竹越 光

鈴鹿8時間耐久レースへのメカニック参加レポート

インディジャパンを観にいきました

2009 IRL® IndyCar® Series Round 16 BRIDGESTONE INDY™ JAPAN 300 mile



2009インディカー・シリーズ第16戦ブリヂストンインディジャパン300マイルの決勝が行われた9月19日にインディナポリスまでバスツアーが実施されました。学生たちは学校でホンダの応援グッズを手にしてバスに乗り込み、もてぎではメインスタンドに入るといって昨日まで4月に行われていたのと同じように観戦することができました。

出場選手では日本人、ドライバーのロジヤー・安川選手、松浦孝亮選手、武藤英紀選手ら3名に注目が集まり表彰台を期待したのですが、優勝はチップ・ガナッシ・レーシングのスコット・ディクソン選手でした。武藤選手は14位で完走、松浦選手も17位に入りました。

安川選手はトラブルに見舞われながらも、ピット修復作業から復帰し、20位で完走しました。

ご機嫌で観戦の学生たち

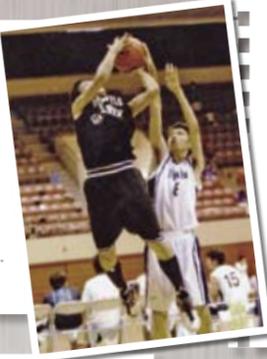


各部活動報告

今年度の前半を中心に部活動情報を紹介します。「えっ、こんなことやるならチャレンジしたい!」「春に入学するタイミングを逸した」という人も多いのではないのでしょうか? 特に1年生は学校の様子がわからないからクラブ活動に躊躇していた人も多いのではないのでしょうか? 今からでも遅くありません、ぜひ挑戦してみてください! 職員室横の掲示板にも案内がありますので見てください。今回、写真や活動内容が紹介できなかった部や同好会の方からの情報や写真をお待ちしています。職員室の学生課で学校新聞担当者へCDやUSBメモリーで情報を持ってきてください。お願いします。

バスケットボール部

今年は全国大会出場を果たしました。仙台で行われた全国大会では予選リーグを突破して決勝トーナメントへ駒を進めたものの残念ながら初戦で敗れてしまいました。



写真同好会

学園祭では写真展の開催をしました。今年の学園祭の展示作品は全部で30点。部員と顧問の先生が撮った写真を展示して人気投票も行いました。他にも「目指せフォトコン入賞!」ということいろいろものを日々撮影しています。



テニス部

東京都で行われる専門学校春季テニス大会へ参加し、3部で優勝を果たしました。学校では週に1回のペースで練習をしています。



ラジコン部

月に1度の走行会を行っています。タミヤの大会を目指して練習をしています。体育館で特設カーベットコースを作ったの走行やラップタイム計測装置を使って楽しんでいます。



野球部

21年度の戦績結果は春のふじみ野市野球連盟会長杯3位、秋のふじみ野市市民体育大会で3位になりました。専門学校の部門では関東大会埼玉予選で優勝し、関東大会の出場を果たしましたが、残念ながら1回戦敗退となりました。



メカニック部

今年は部に昇格しました。夏の鈴鹿8時間耐久レースのメカニックとして参戦するのがメインの活動になっています。詳しくは学校新聞の表面の8時間耐久レース記事を読んでください。



新動力研究部

ソーラーパネルとバッテリーでモーターを駆動するマシンを使って、秋田県大湯村で行われるワールドソーラーバイシクルレースに1999年より参戦しています。最高速を競うコンテストでは優勝回数を9に伸ばし、コースレコードも保持しています。耐久レースでも毎年上位入賞を果たす常連チームです。



サッカー部

2年連続の全国大会出場を目指し、今年度は埼玉県大会で優勝し、続く南関東大会へ出場しました。しかし、残念ながらこの大会では勝ち残ることができませんでした。



F-1 SAE部

学生フォーミュラー選手権へ参戦しています。専門学校での参加第1号です。マシンは毎年、新造するので企画から設計して製作とテストといったモノづくりの醍醐味が味わえます。今年は66チーム中で42位の成績でちょっと不本意。来年はぜひ上位入賞を目指そう!



卓球部

埼玉県専修学校各種学校協会や全国大会への出場を目指します。今年は東京都の大会へも参加します。学校では体育館で練習をしています。毎週金曜日と火曜日が練習です。興味がある人はぜひ、見に来てください。



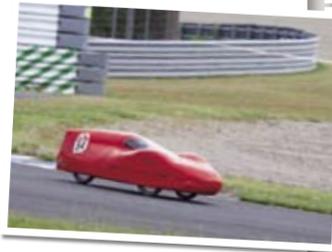
軽音楽部

普段は放課後に食堂で練習をしています。年に1度の学園祭ではライブを行います。毎年、音楽好きな仲間が集まってわいわいやっています。



エコラン部

少ないガソリンでどれだけ走れるかを競うレースに参加しています。歴代のマシンに改良を加えるもよし、新車を作るもよし。記録を目指して頑張っています。もてぎのサーキットで開催されたホンダエコノパワー全国大会で総合17位、ニューチャレンジクラスで3位に入賞。



オフロード部

毎年、キャンパスオフロードの大会をメインに活動をしています。また、今年度も「TEAM HAMMER ホンダ学園」として全日本モトクロスのメカニックサポートも行っています。



退任のあいさつ



小宮 孝司
7月31日を以ってHondaを早期退職し、大学へ転身を致しました。入社以来33年を数えましたが、学園での7年半は年数以上の重みのある時間でした。チャレンジ精神を持って夢を追いかけたい、どんな小さなことであっても良いので努力を継続することが必ず実現へのパワーになります。大変厳しい自動車業界ですが、学生の皆さんにはHonda DNAをベースに社会で活躍されることを祈っております。



亀井 登
就職してから22年間を一貫してサービスマンとして四輪、二輪、汎用の広い分野で過ごしてまいりました。学園では電装やシャシの授業を担当し、教えるという立場ではありましたが逆にいろいろなことを学ぶことも多く、常にみなさんから若さをもらっていたように思います。最近は授業以外のところで学園祭や研修などで皆さんの思い出づくという分野を担当してきました。

退任にあたり、みなさんに次の2つのことをぜひ実践してもらいたいと思っています。1つ目は、人に誇れることをたくさん持つてほしいということです。例えば、声が大いとか挨拶は誰にも負けないとかでもないし、資格や特技でもないのだけれど、何かを若いうちに身につけてほしいです。2つ目は、人と人のコミュニケーションを大切にしたいということです。就職すれば上司や先輩がいます。何年かすれば先輩として部下もできます。周りの人と一緒に仕事をすることで良いコミュニケーションがとれると職場が明るくなり、雰囲気や人間関係がよくなり、仕事が楽しくなります。ぜひ、それらを心がけてほしいと思います。最後に学生諸君と学園の皆様のご活躍とご健康を祈念いたしまして、挨拶と致します。永い間ありがとうございました。



安藤 敏勝
退任に際し、学生の皆さんへ伝えておきたいことをいくつか述べさせていただきます。まず、自分自身は自然という力の中で生かされている考え方をしています。ですから自分のためにもっと生きていたいと思うことが大切だと

思います。肩の力を抜いて自分に何が出来るか、何がしたいかを考えませんか? 目的もなしに生きていると思うと苦しいものです。目的を持ち、その目的に向かって努力することで我慢や辛抱することができ、困難を乗り越えることができると思います。私自身も定年を一年延長し、42年間のHondaでの生活の中で目的を達成させるための楽しい人生を送ることができたと思います。あらためて、皆様にご挨拶と共にご心より御礼を申し上げます。

転任のあいさつ



小川 幸雄
社会人講師として現場のノウハウを直接みなさんに伝えるために2年間学園で過ごしたのち、Hondaから東京中央の本社サービス部門へ戻ることになりました。一緒に勉強した2年生の卒業を見届けることができなくなり残念です。みなさんのこれからの活躍を期待しています。

着任しました



青屋 和宏
皆さんこんにちは。9月1日付で、(株)Honda アクセス総務Bから事務部総務課に赴任致しました。入社以来、四輪営業所、販売店での営業マン、青山本社・関西・北海道営業部等の総務を経験致しました。

「明るく! 楽しく! 元気良く!」そしてチームワークを大切に!」をモットーに、皆さんと学園生活を送りたいと思います。Honda学園で仕事ができること、皆さんの出会いを楽しみに赴任してまいりました。出会った、遠慮なく声をかけて下さい。今後共よろしくお祈り致します。



服部 裕司
10月1日付でHondaから東京中央から自動車整備科2年の担当に赴任しました。

10月1日付でHondaから東京中央から自動車整備科2年の担当に赴任しました。これまでの経験を活かして学生の皆様のお役に立てるように自分自身も勉強しながら頑張っていきたいと思います。